

でも世界。はしっこ



ムヴィオラは、世界で最も有名な映画フィルム編集機の名前から勝手にいただきました名前です。ジョン・フォードもルイス・ブニエルの小さな窓を真剣に覗くと映画が生まれました。フィルムの時代は消え去りましたが、ムヴィオラという言葉に、まだ映画の魔法が生きていることを願って。

詳しくはこちらのサイトで [www.moviola.jp](http://www.moviola.jp)

11/7[土]	アジア傑作選	10:30   世紀の光	12:35   トーク(無料/入場自由) ゲスト:石坂健治、市山尚三、武井みゆき(ムヴィオラ)	13:30   三姉妹～雲南の子	16:30   タレンタイム(原題)
11/8[日]	『スティーヴィー』最終上映＋ワン・ピン傑作選	10:30   スティーヴィー	13:20   名前のない男	15:20   鳳鳴 中国の記憶	
11/9[月]	『スティーヴィー』最終上映＋史実の力	10:00   スティーヴィー	*予告篇なし 12:40   シアトープリアンからの手紙	14:35   フォンターナ広場	17:05   怒れ! 憤れ!
11/10[火]	『スティーヴィー』最終上映＋音楽の力	10:00   スティーヴィー	*予告篇なし 12:35   ベンダ・ビリリ!	14:25   ペルシャ猫を誰も知らない	16:35   パプーシャの黒い瞳 *予告篇なし
11/11[水]	ドキュメンタリー選	10:00   スティーヴィー	*予告篇なし 12:40   石巻市立湊小学校避難所	15:10   鳳鳴 中国の記憶	
11/12[木]	史実の力	10:00   オレンジと太陽	12:15   パプーシャの黒い瞳	14:15   フォンターナ広場	16:50   無言歌
11/13[金]	アジア傑作選	9:50   収容病棟[前後編]	*予告篇なし/休憩あり	14:05   ヘヴンズ ストーリー	*予告篇なし/休憩あり
11/14[土]	アジア傑作選	10:30   プンミおじさんの森	12:50   名前のない男	14:45   収容病棟[前後編]	*予告篇なし/休憩あり
11/15[日]	ワン・ピン傑作選	10:30   鉄西区[1] 工場	*休憩あり	14:50   鉄西区[2] 街	18:00   鉄西区[3] 鉄路
11/16[月]	第三の世界	10:30   ウカマウ[＋2短編]	12:40   地下の民	15:15   これは映画ではない	17:00   ベンダ・ビリリ!
11/17[火]	フィルムメックス上映作選	10:45   ムヴィオラ予告編集① (無料/入場自由)	11:30   プンミおじさんの森	13:50   郊遊(ピクニック)	16:35   無言歌
11/18[水]	フィルムメックス上映作選	10:00   子供の情景	11:45   ペルシャ猫を誰も知らない	14:00   これは映画ではない	15:40   三姉妹～雲南の子
11/19[木]	ヨーロッパ傑作選	10:00   もうひとりの息子	12:10   クリスマス・ストーリー	15:00   追憶と、踊りながら	16:50   オレンジと太陽 *予告篇なし
11/20[金]	アジア傑作選	10:45   ムヴィオラ予告編集② (無料/入場自由)	11:30   子供の情景	13:15   三姉妹～雲南の子	16:15   郊遊(ピクニック)

2015.11.7[土] — 20[金]

5回券:5,000円[税込] (9/1より～上映期間中発売)  
当日料金:一般・大・高1,500円 | 中・小・シニア1,000円 [税込]  
※『ヘヴンズ ストーリー』『収容病棟』は特別料金2,000円均一(回数券は2枚必要となります)

新宿 K's cinema

新宿駅東南口階段下ル  
甲州街道沿ドコモショップ左入ル  
03(3352)2471 [www.ks-cinema.com](http://www.ks-cinema.com)  
各回入替・整理券制



幻の傑作ドキュメンタリー!『スティーヴィー』国内最終上映  
来年公開作の特別先行上映①伝説のマレーシア映画『タレンタイム』(原題)  
来年公開作の特別先行上映②アビチャップンの『世紀の光』  
驚きのワン・ピン特集! 全9時間『鉄西区』&『名前のない男』特別上映 etc.

ムヴィオラ  
15周年  
特集上映  
MOVIOLA  
15th Anniversary  
2015.11.7 Sat — 20 Fri  
@新宿 K's cinema



でも世界。はしっこ

でも世界。はしっこ

アビチャップン・ウィーラセタクン  
アルノー・デプレジャン  
クジシュフ・クラウゼ  
ジム・ローチ  
ジャファール・パナヒ  
スティーヴ・ジェイムス  
瀬々敬久  
ツァイ・ミンリャン  
トニー・ガトリフ  
ハナ・マフマルバフ  
藤川佳三  
フォルカー・シュレンドルフ  
ホルヘ・サンヒネス  
ホン・カウ  
マルコ・トゥリオ・ジョルダーナ  
ヤスミン・アフマド  
ワン・ピン  
etc.

小さな配給会社が届けた  
お宝映画をアジア・アフリカ、  
ヨーロッパ、アメリカ、日本から  
“ほぼ30本”特集上映。

ムヴィオラ  
15周年  
特集上映  
MOVIOLA  
15th Anniversary  
2015.11.7 Sat — 20 Fri  
@新宿 K's cinema

[www.moviola.jp](http://www.moviola.jp)





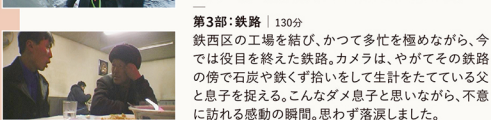
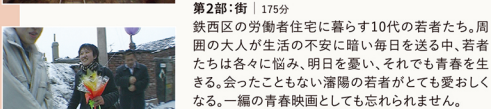
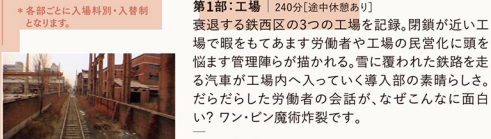
# でも世界はしつこくムヴィオラ15周年特集上映

● **ブンミおじさんの森**  
UNCLE BOOMBEE WHO CAN RECALL HIS PAST LIVES  
監督:アビチャッポン・ウィーラセタクン  
2010年|イギリス、タイ、ドイツ、フランス、スペイン|114分  
提供:シネマライズ 出演:タナパット・サイセイマー  
カンヌ国際映画祭パルムドール(最高賞)

● **カンヌ最高賞 | アビチャッポン | タイ**  
腎臓病を患い、死期を悟ったブンミおじさんの前に、亡くなった妻の霊や、猿の精霊、さらにはブンミの前世が現れる。カンヌ審査委員長テム・バートンが大絶賛した驚きと微笑みのファンタジー。映像のみならず豊饒な森の音が素晴らしい。シネマライズさんの買付作を配給させてもらい、アビチャッポンと良い縁ができました。

● **鉄西区**  
WEST OF TRACKS  
監督:ワン・ビン  
1999-2003年|545分(3部構成)  
山形国際ドキュメンタリー映画祭2003大賞ほか

● **11/15[日]  
10:30 | 第1部:工場  
14:50 | 第2部:街  
18:00 | 第3部:鉄路**  
\*各都県ごとに上映料・入館制と異なります。



● **無言歌**  
THE DITCH  
監督:ワン・ビン  
2010年|香港、フランス、ベルギー|109分  
出演:ルウ・イ、リュン・レンジョン  
2011キネマ旬報外国映画監督賞

● **ワン・ビン | キネ旬外国映画監督賞 | 中国・反右派闘争**  
中国、1960年。文革前の知られざる「反右派闘争」の悲劇。西部の辺境、戈壁砂漠の収容所で強制労働に明け暮れる男たちを描く劇映画。轟々と鳴る砂と風。塹壕のような収容所に射し込むひと筋の光。ただ人が死んで行く、映画の強靭さに圧倒され、見終わると本当に無言にならざるを得ない。ワン・ビン初の劇場公開となった思い出の一作です。

● **11/12[木]  
16:50  
11/17[火]  
16:35**

● **世紀の光**  
SYNDROMES AND A CENTURY  
監督:アビチャッポン・ウィーラセタクン  
2006年|タイ、フランス、オーストラリア|105分  
出演:サクダー・ファアプアデー  
2006ヴェネチア国際映画祭コンペティション部門出品

● **アビチャッポン幻の傑作 | タイ**  
2つのパートに分かれ、前半は地方の病院、後半は都市の近代的な病院が舞台。医師と患者の会話や恋の芽生えなどエピソードは前半と後半で反復され、またしずけながら現れる。アビチャッポン映画の重要なモチーフである「記憶」未来を大胆な構成で描く。これまで日本で上映が困難だった幻の傑作を、新作「CEMETARY OF SPLENDOR」に併せて来年公開します。

● **タレンタイム (原題)**  
TALENTIME  
監督:ヤスミン・アフマド  
2009年|台湾、フランス|120分  
出演:マヘシ・ジュガル・キョー、パメラ・チョン  
マレーシア映画祭主要賞

● **ヤスミン・アフマド伝説の遺作 | マレーシア**  
高校生の音楽コンクール「タレンタイム」をめぐる瑞々しい青春映画であり、涙なくして見られない号泣映画であり、その奥には、多民族国家マレーシアのみならず世界が直面する不寛容を超えようとする強いビジョンが息づく。ヤスミンの映画はアジアの至宝、今の世界に輝きを放つ宝物。この映画を配給できることに感謝します。

● **ファンミン 鳳鳴 中国の記憶**  
FENGMING, A CHINESE MEMOIR  
監督:ワン・ビン  
2007年|香港、フランス|184分  
山形国際ドキュメンタリー映画祭2007大賞ほか

● **ワン・ビン | YIDFF大賞 | 中国・反右派闘争**  
ほぼ全編にわたる1人老女・鳳鳴の語りを正面からカメラにおさめるのみ、語りの磁力にすべてを賭けた作り手の大胆さが、「鉄西区」に匹敵する傑作を生み出した。反右派闘争の弾圧に始まる約30年にわたるひとりの女性の物語が中国の歴史に重なる。強制収容所で命を落としたり夫を回想するくだり、鳳鳴という人を心から親密に感じました。

● **名前のない男**  
MAN WITH NO NAME  
監督:ワン・ビン  
2009年|フランス|96分

● **ワン・ビン | 中国・辺境 | ドキュメンタリー**  
『鳳鳴』『無言歌』製作のために通リかかった廃村で、ワン・ビンが出会った男たちとの姿を、実在のミュージシャン達の出演で描いた青春群像劇。ゴバディ監督は当局に無許可でゲリラ撮影を敢行。本当に音楽が素晴らしい!規制なんて屁のカップの仏像は破壊されたのではない!恥辱のあまり崩れ落ちたのだ!より、大胆な映像の力、少女の愛らしさに驚嘆みにされました。

● **三姉妹〜雲南の子**  
THREE SISTERS  
監督:ワン・ビン  
2012年|フランス、香港|153分  
2012ヴェネチア国際映画祭オリゾンティ部門  
グランプリほか

● **ワン・ビン | 中国・雲南 | ドキュメンタリー**  
中国で最貧困と言われる雲南地方の村に暮らす10歳と6歳と4歳の幼い三姉妹、母は家を出、父は出稼ぎ。3人だけで生活する。その日常が、ある瞬間、人間の尊厳を刻印する厳粛さをもって現れるワン・ビン映画の凄み。それでも三姉妹は文句なしに愛おしく、ことに長女インインは生涯恋られぬヒロインです。

● **11/7[土]  
13:30  
11/18[水]  
15:40  
11/20[金]  
13:15**

● **収容病院**  
TIL MADNESS DO US PART  
監督:ワン・ビン  
2013年|香港、フランス、日本|237分[途中休憩あり]  
2013ワント三大陸映画祭銀の狼賞ほか

● **ワン・ビン | 中国・精神病院 | ドキュメンタリー**  
社会から隔絶された雲南省の精神病院。「異常なふるまい」を理由に収容される患者たちの日常を記録。映画としての極高度、登場人物に思わせる親密さ、エッジいながらに優しい。なぜこんな映画が撮れる?と聞きたくなるワン・ビンらしい傑作なので、長尺ですがぜひこの機会に鑑賞チャレンジを。

● **郊遊(ピクニック)**  
STRAY DOGS  
監督:ツァイ・ミンリャン  
2013年|台湾、フランス|138分  
出演:リウ・カンシヨウ、チェン・シャンチー  
2013ヴェネチア国際映画祭審査員大賞ほか

● **ツァイ・ミンリャン | ヴェネチア審査員大賞 | 台湾・台北**  
台北の片隅、水道も電気もない空き家で暮らす父と幼い息子と娘。「人間立て看板」でわずかな金を稼ぐ父の孤独、劇映画の範疇から逸脱した傑作。美しく強靭なショットと向き合い続ける感動。監督のツァイさんは、この映画を最後に映画館で上映するための映画は作らないと言いましたが、今年のヴェネチアに新作が! 前言撤回なら大歓迎です。

● **これは映画ではない**  
THIS IS NOT A FILM  
監督:ジャファール・パナヒ、モジタ・パルタマズ  
2011年|75分  
2011カンヌ国際映画祭キャロンドール賞ほか

● **パナヒ | 映画製作禁止へのプロテスト | イラン**  
反体制活動を理由に20年間の映画製作禁止を命じられた映画監督が、自宅でこっそり撮影しカンヌ映画祭に「密輸」、「これは映画じゃない」と言い張る。その反骨心が、イラン映画お家といえる虚実のズリに昇華し、めっぽう面白い!映画!になった。パナヒはまたも「密輸」で今年のベルリン金熊賞に輝きましたが、個人的にはその新作以上と思っています。

● **ペルシヤ猫を誰も知らない**  
NO ONE KNOWS ABOUT PERSIAN CATS  
監督:バフマン・ゴバディ  
2009年|イラン|106分  
出演:ハメッド・ババダグ  
2009年カンヌ国際映画祭(ある視点)部門特別賞ほか

● **ゴバディ | 音楽と青春 | カンヌ〈ある視点〉賞 | イラン**  
西洋音楽が規制されているイラン。首都テヘランで、密かに音楽活動をする若者たちの姿を、実在のミュージシャン達の出演で描いた青春群像劇。ゴバディ監督は当局に無許可でゲリラ撮影を敢行。本当に音楽が素晴らしい!規制なんて屁のカップの仏像は破壊されたのではない!恥辱のあまり崩れ落ちたのだ!より、大胆な映像の力、少女の愛らしさに驚嘆みにされました。

● **子供的情景**  
BUDDHA COLLAPSED OUT OF SHAHE  
監督:ハナ・マフマルバフ  
2007年|イラン、フランス|81分  
出演:シクバット・ノルーズ  
2007年アンジスチン映画祭審査員賞ほか

● **ハナ・マフマルバフ | 6歳の少女 | アフガニスタン・パルミヤン**  
イスラム原理主義勢力タリバンの手で破壊されたパルミヤンの仏像。その足元で生きている6歳の少女、父の教育が困難なその地で、どうしても4学校に行きたいと願う少女の小さな冒険を通し、戦争が子供に与える影響を寓話的に描く。原題は、監督の父モフセシの著書「アフガニスタンの仏像は破壊されたのではない!恥辱のあまり崩れ落ちたのだ!より、大胆な映像の力、少女の愛らしさに驚嘆みにされました。

● **11/18[水]  
10:00  
11/20[金]  
13:30**

● **クリスマス・ストーリー**  
A CHRISTMAS TALE  
監督:アルフレッド・ジャコブソン  
2008年|フランス|150分 出演:カトリヌ・ドヌーヴ、マチュー・アマルリック、メルヴィル・ポープ  
2008カンヌ国際映画祭コンペティション部門出品

● **デプレシャン | ドヌーヴ | ダマ家族の肖像 | フランス・ルーベ**  
クリスマスに噴出する家族の悩み、寂しさ。そこに母の重病が発覚し…。どんなに衝突しても家族である彼らの上に降る雪の美しさ。ドヌーヴ、アマルリック、プボー、エミニュエル・ドゥヴォスらがデプレシャン組総動員で、監督が映画への愛のありったけを注ぎ込んでいる。映画はどこまでも豊かになれると信じるデプレシャンが好きです。

● **オレンジと太陽**  
ORANGES AND SUNSHINE  
監督:ジム・ローチ  
2010年|イギリス、オーストラリア|106分  
出演:エリカ・ワトソン、デイヴィッド・ウェナム、ヒューゴ・ウーヴィング  
2012オーストラリア映画批評家協会賞最優秀女優賞ほか

● **実話 | 児童移民 | イギリス・オーストラリア**  
ノットینگラムでソーシャル・ワーカーとして働く女性が、19世紀から英国が行っていた「児童移民」政策の事実を暴いた。政府が施設の子供たちを勝手に海外に送っていたのだ。こんな実話があったなんて。尊敬するケン・ローチの息子ジムの初長編ですが、そんなことと関係なく感動し、映画祭のマーケット試写で声をあげて号泣してしまいました。

● **もうひとりの息子**  
THE OTHER SON  
監督:ロレーヌ・レヴィ  
2012年|フランス|105分  
出演:エマニュエル・ドゥヴス、パスカル・エルベ、アリオン・ウマリ  
2012東京国際映画祭グランプリ&監督賞

● **東京国際グランプリ | 子供の取り返し | パレスチナ・イスラエル**  
出生地に取り返された2人の息子。しかも、ひとりにはイスラエル、もうひとりにはパレスチナ。家族はどうやってその試練を乗り越えていくのか。出来過ぎと批判されそうな設定なのに、監督は全神経を集中し、物語にリアリティをもたしめた。現実我希望が見出しにくくても、映画には希望を語る権利がある。そんな作り手の声が聞こえてくる映画でした。

● **フォンターナ広場**  
イタリヤの陰謀  
PIAZZA FONTANA, THE ITALIAN CONSPIRACY  
監督:マルコ・タリオー・ジョルダナ  
2012年|イタリア、フランス|129分  
出演:ヴァレリオ・マスタンドレア  
2012イタリア・アカデミー賞3賞受賞ほか

● **ジョルダナ | 実話 | 1969年 | イタリア・ミラノ**  
学生運動の波が高まる69年のイタリア、ミラノ。フォンターナ広場に面した全国農業銀行が何者かによって爆破された。調査を始めた警視の前にイタリアの闇が広がる。ジョルダナ監督は大ヒット作『輝ける青春』が有名ですが、ここでは全編緊迫感に溢れる研ぎぎされた映像で、実話を映画芸術に昇華させて、見惚れてしまいました。

● **ヘヴンズ ストーリー**  
監督:瀬々敬久  
2010年|日本|278分[途中休憩あり]  
出演:宮岡明、長谷川朝晴、忍成修磨、村上淳、山崎ハコ  
2011ベルリン国際映画祭国際批評家連盟賞  
最優秀アジア映画賞ほか

● **瀬々監督のインディペンデント大作 | ベルリン2冠 | 罪と罰**  
家族を殺された少女、妻を殺された男を中心に、20人以上の登場人物が複数の殺人事件をきっかけにつながついていく。4時間38分という上映時間だけでなく、瀬々敬久監督の映画にあるスケールは、今の邦画界のお宝。そのロケーションを見るだけでも「映画を見た」と感動できる。全9章仕立てなので見やすさもあり、時間の長さも怖くありません。

● **11/13[金]  
14:05**  
\*長尺のための特別料金と なります。

● **シャット・ブリアンからの手紙**  
CALM AT SEA  
監督:フォルヘー・シャレンドルフ  
2012年|フランス、ドイツ|91分  
出演:レオ・マテウ・サルマン、マルク・バルベ、ウルリッヒ・マテス

● **シュレンドルフ | 実話 | 第二次大戦 | フランス・ドイツ**  
1941年、ドイツ占領下のフランス。1人のドイツ将校が暗殺された報復に、ヒトラーは収容所のフランス人150名の銃殺を命令。知らなかった史実の中に、ヨーロッパの歴史の複雑さが凝縮している。ベルリン映画祭で観た観客総立ちの光景が忘れられない。ドイツ人がフランス人を殺した話をドイツの名匠が撮り、ドイツ人が喝采を送っていました。

● **怒れ! 憤れ!**  
—スデファン・エセルの遺言—  
INDIGNADOS  
監督:ニコ・ガトリ  
2012年|フランス|88分  
出演:パティ

● **ガトリ | 怒れる者たち | スペイン、フランス、ギリシャ、トルコ**  
93歳の元レジスタンスの闘士スデファン・エセルが、若者に「世の不正義に目をつぶるな」と語りかけた世界的ベストセラー「怒れ! 憤れ!」の映像化。2011年にヨーロッパ各地で起きた「怒れる者たち」のデモに、アフリカの少女の物語を重ねる。実際のデモ映像と、音と色が溢れる官能的な映像詩が呼応して、強烈なエネルギーが感じられます。

● **パパーシャの黒い瞳**  
PAPUSHA  
監督:ヨアンナ・コスミクラゼ、クシシュトフ・クラウゼ  
2013年|ポーランド|131分  
出演:ヨグタ・ドニク、グワイシェフ・スタロン  
2013カルロヴィ・ヴァリ映画祭特別賞ほか

● **クラウゼ | ジブシー | 詩と音楽 | モノクローム | ポーランド**  
書き文字を持たないジブシーの一族に生まれるが、詩人となったパパーシャ。しかし、その才能は様々な波紋を呼び、彼女の人生を大きく変えてしまう。ポーランドの名匠が、戦前戦後の激動のポーランド現代史と実在したジブシー女性詩人の生涯をモノクロームで描く。映画は芸術、そう言って躊躇わない監督の強い意志に圧倒された傑作です。

● **追憶と、踊りながら**  
LILTING  
監督:ホン・カウ  
2014年|イギリス|86分  
出演:ベン・ウィショー、チェン・ペイベイ  
2014サンダンス映画祭最優秀撮影賞ほか

● **ペイベイ&ウィショー共演 | 異文化、異世代 | ロンドンの中国女性**  
ロンドンの介護ホームでひとり暮らしカンボジア系中国人のジーン。ある日、彼女の前に息子の友人リチャードが現れる。愛する者を失った痛みは同じなのに、異文化、異世代に生きる2人は理解しあえない…。新鋭ホンのカウの繊細さに驚き、香港のキン・フー映画のヒロインだったペイベイと、英国の人気俳優ベン・ウィショーの演技に胸がいっぱいになりました。

● **石巻市立湊小学校 避難所**  
監督:藤川佳三  
2012年|日本|124分

● **東日本大震災 | 愛おしいヒロイン | 6ヶ月のドキュメント**  
2011年3月11日に起きた震災によって、宮城県石巻市では5万人以上が避難所生活を余儀なくされ、満小学校も避難所となった。これは藤川監督が、6カ月の間、湊小学校に泊まり込んでカメラを回した記録。独り暮らしで70歳目の愛ちゃん、ここで「親類がいっぱいできた」と顔をくしゃくしゃにした。愛ちゃんは忘れぬヒロインになり、離れていても震災が心に深く刻まれました。

● **11/11[水]  
12:40**

● **ウカマウ**  
UKAMAU  
監督:ホルヘ・サントネス  
1965年|ボリビア|76分  
提供:シネマテーク・インディアス  
出演:太陽の島に生活する農民  
1966カンヌ映画祭青年監督賞ほか

● **ウカマウ集団 | アンデス先住民 | ティティカカ湖 | ボリビア**  
南米ボリビアで60年代半ばから映画制作をしているウカマウ集団。ボリビアの半数以上は先住民だから、先住民の価値観で映画を作るという姿勢が革命的だった。アンデス山中、ティティカカ湖上の太陽の島に住むインディオ農民の妻が、メスティオの仲買人に暴行され、殺された。復讐を誓った夫の前途は? 記念すべき初長編です。 \* 同時上映「革命」(10分)、『落着』(20分)

● **地下の民**  
LA NACIÓN CLANDESTINA  
監督:ホルヘ・サントネス  
1989年|ボリビア|126分  
提供:シネマテーク・インディアス  
出演:レイナルド・エフラ  
1989セサチン映画祭グランプリほか

● **ウカマウ集団 | アンデス先住民 | 死のダンス | ボリビア**  
60年代に活動を始めたウカマウが、民族的アイデンティティの喪失と再生を描いた代表作。かつて共同体を裏切って追放され、街に暮らしてきた先住民セバスチャン、戻れば殺されると知りつつも、彼は「死のダンス」を踊るため村に帰ることを決意する。時間の流れ方も物語の語り方も、いわゆる第一世界の映画とまったく違うのでぜひ一度体験を。

● **スティーヴィー**  
STEVEE  
監督:スティヴ・ジェイムス  
2002年|アメリカ|145分  
山形国際ドキュメンタリー映画祭2003最優秀賞ほか

● **YIDFF最優秀賞 | 家族の肖像 | 犯罪加害者 | アメリカ・イリノイ**  
ジェイムス監督はかつて知り合った少年スティヴィーの、青年となった今を撮ろうとする。だが、スティヴィーはその途中で重大な犯罪の容疑に問われる。撮り続けるか、止めるべきか。監督自身の葛藤と実在したジブシー女性詩人の生涯をモノクロームで描く。映画は芸術、そう言って躊躇わない監督の強い意志に圧倒された傑作です。

● **ベンダ・ビリリ!**  
べもうっのキンシャサの奇跡  
BENDA BILILI!  
監督:ルノー・バル&フランク・ドラウタイ  
2010年|フランス|87分 提供:ブランク  
出演:スタフ・ベンダ・ビリ  
2010カンヌ国際映画祭監督週間出品

● **ワールド・ミュージック | 車椅子 | コンゴ | ドキュメンタリー**  
ベンダ・ビリリはボリオによる障害を持つメンバーとストリート・ダンスの場から始まる、WOMEX AWARD年間アーティスト賞にも輝いた奇跡のバンド。コンゴを愛する2人のフランス人映像作家がこの音楽集団を5年にわたって記録した。最高の音楽映画で、社会の外側に追いやられた人々のための映画。とにかくビリリのパワーに感動!

## 15周年特集上映によせて

新宿御苑の片隅で小さな映画会社を始めて15年になった。その話をしたら、新宿仲間のケイジシネマさんが特集上映をやってくれと言う。ありがたいことだ。私たちの会社は小さい。収益も小さい。けれど、映画の大きさや豊かさには収益は関係ない。映画のおかげで、小さな会社が、とてつもなく大きく豊かな世界に出会ってきた。暗闇の中で、大きく豊かな映像や音に包まれていると、どの場所にもどこの時代にも触ることができる。雲南省でもベルーでもテヘランでも。はっぴいできて、世界に触ることができる。そうして、映画は意になり、同時に鏡になっていく——権利の関係で上映できない映画もありますが、今回、2005年以降のほぼすべての配給作を上映します。どれも出会えたことを感謝したい映画ばかりです。ぜひご覧ください。

映画会社ムヴィオラ(T)